

【技術分類】 1 3－4－4 自動車ブレーキシステム／リターダ／流体式

【 F I 】 B60T1/087

【技術名称】 1 3－4－4－1 流体式リターダ

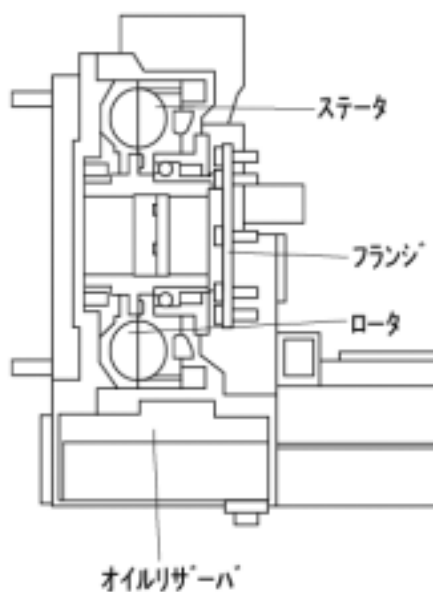
【技術内容】

流体リターダは流体の攪拌抵抗により制動力を与える装置である。装置は図(1)に示すような流体カップリングを用い、ロータを駆動軸、ステータをケースに固定する。ロータからステータへ流体が送りこまれるが、ステータはケースに固定されて回転しないため、流体衝突損失が抵抗となって制動トルクが発生する。この流体抵抗は熱となって温度を上昇させるためラジエータにより冷却される。

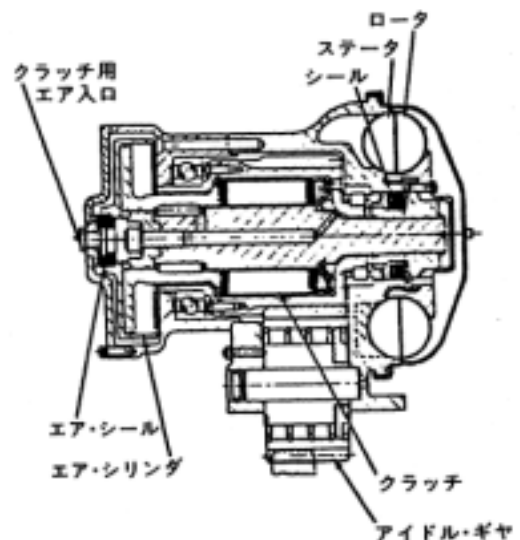
装置を作動させる方法は、通常はカップリング内に流体を充填せず抵抗が発生しないようにしておき、リターダのスイッチ ON 時に、この中に急速に流体を充填し制動トルクを発生させる。

また別な方法としては、図(2)に示すように常時流体を充填しておくがステータをケースに固定せず、リターダ ON 時にステータをクラッチにてケースに固定するクラッチ式も用いられている。

【図】 流体式リターダ



図(1)流体式リターダ



図(2)流体式リターダ（クラッチ式）

図(1) は、参考資料を基に本標準技術集のために作成

図(2) 出典：「自動車選書-ブレーキ」、(1987/11/30)、青木和彦著、山海堂発行 頁 157-図 8-12

【出典／参考資料】

「自動車技術ハンドブック 2-設計編」、(1991/3/1)、自動車技術会編著、自動車技術会発行
「自動車選書-ブレーキ」、(1987/11/30)、青木和彦著、山海堂発行